



TITLE:

# 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 138

AUTHOR(S):

---

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 138. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1964, 138: 89-96

ISSUE DATE:

1964-03-10

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186899>

RIGHT:

京 都 大 学 瀬 戸 臨 海 実 験 所 振 興 會

水 族 館 月 報

NO. 138

1964. 2月(3月10日)

録 事

2月1日 明光バス・白鷺バスおよび交通公社等の要望もあり、検討の結果、当館の開館時間を下記の通り決定、各方面に通知をなす。

記

自3月1日至3月15日； 開館9時，閉館17時。

自3月16日至3月31日； 開館9時，閉館18時。

なお4月1日以降の開館・閉館時刻については，大学当局と折衝中。

2月8日 京大理学部事務室三井度務掛長来館，振興会取次の履歴書の整備等につき話し合い並に打合わせを行なう。

## 業 務 概 況

### ◎ 2月の入場者数

#### ○ 水族館窓口発売

区 分	大 人	小 人	小 計	累 計
個 人	8755	219	8974	96769
団 体	11909	558	12467	159200
合 計	20664	777	21441	255969

#### ○ 交通業者委託発売

区 分	大 人	小 人	小 計	累 計
明 光 バス	36953	146	37099	402479
白 浜 急 行 バス	3162	5	3167	43159
合 計	40115	151	40266	445638

#### ○ 旅行幹旋業者委託発売

区 分	大 人	小 人	小 計	累 計
日本交通公社	2849	—	2849	31941
近畿日本ツツサ	3596	—	3596	13402
日 本 旅 行 会	1299	—	1299	5712
南 海 交 通 社	420	—	420	2903
日本通運KK	43	—	43	759
合 計	8207	—	8207	54717

合 計	68986	922	69914	756324
累 計	706958	12753	—	756324
無 料	89	—	89	3860

◎ 2月の事業収入

(今年度累計)

観光券売上金	2,892,806	25,003,832
窓 口 発 売	969,645	8,130,312
明光バス観光券	1,430,021	13,900,428
白浜急行バス観光券	1,677,000	13,784,555
日本交通公社クーポン	1,214,688	8,946,766
近畿日本ツリストクーポン	1,479,055	4,236,553
日本旅行会クーポン	526,922	1,892,877
南海交通社クーポン	1,440	62,957
日本通運KKクーポン	1,935	24,064
絵はがき売上金	35,610	583,110
予 金 利 子	—	317,194
手 数 料	45,516	750,298
パンフレット 払下	—	180
研究業績払下	—	750
魚 炎 払 下	—	34,750
雑 収 入	—	5,403
諸施設改修独立金より繰入	—	2,550,000
合 計	2,973,932	29,245,517
明光バス観光券未収分 @50	1,990枚	@45 2155枚
@25	5枚	@23 0枚

◎ 2月の支出

本部経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	31,417	461,707	
旅 費	15,030	92,170	
会 議 費	—	82,930	
事 務 費	—	499,711	
福祉厚生費	—	230,531	
社会保険料	1,694	13,090	
獨 立 金	552,949	436,959	
合 計	601,090	574,973	

# 水族館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人件費	300,581	394,949	
旅 費	31,900	66,600	
事業費	269,043	306,681	
管 繕 費	244,000	619,294	
公課保険料	14,359	182,407	
諸 聖 費	130,717	204,340	
合 計	990,600	992,836	

# 実験所経費

費 目	金 額	累 計	備 考
旅 費	14,460	23,589	
研 究 費	—	45,622	
助 成 金	10,000	150,870	
刊 行 費	616	373,916	
役 務 費	44,790	653,897	
合 計	69,866	1,460,195	

# 臨時費

摘 要	金 額	累 計
合 計	—	290,000

# 支出合計

(今年度累計)

本部経費	601,090	574,973
水族館経費	990,600	992,836
実験所経費	69,866	1,460,195
臨時費	—	290,000
合 計	1,661,556	2,038,268

# ◎ 2月末現在高

前月よりの繰越	7,894,873
今月の収入合計	2,973,932
今月の支出合計	1,661,556
現 在 高	9,207,249

# ◎ 前年度との比較

	1964	1963	増 減
入 場 者 数	69,914	71,036	- 1,122

## 水族館記事

- ◎ 8日 近大養魚場より、トラフグ50体(12 kg)を購入。H水槽に収容した。  
トラフグの成魚は、白浜近海には少なく、まれに入槽しても「すれ」に弱く、長生きしなかった。今回は長期飼育をむくろみ購入時の投別と輸送に注意した。
- ◎ 15日 植物育成用蛍光灯(新日本電機製)を熱帯淡水魚槽の照明に試用開始。  
 この蛍光灯は、赤色を強調するので、レッドソーダテール、スマトラなどの体色に深みをもたせ、展示面でも効果ある。
- ◎ 18日 オ3水槽室地下貯水槽M、Wを満水させ、ヒートポンプによる加温のテストを始めた。
- ◎ 19日 H水槽は本日より、外式濾過槽を併用しヒートポンプによる温水循環を開始した。水温は14.0℃より21日には14.5℃に上り、以後26日まで20±2℃を維持した。一方循環方式を変更した際に新海水に混って病原虫が侵入したらしく、ハマチ、フエフキザイ、トラフグなどに白点病が発生したので内式単独循環にもとし、ネグボン硫酸銅により治療中。
- ◎ 22日 昨年11月13日に入槽した巨大なニシキエビは、水温低下のため元気がなくなったので、保温中のD水槽に移したが、回復せず死亡。甲殻を乾燥標本として保存することにした。
- ◎ 23日 本年初のタカアシガニ(♀)1個体が入槽したが、左側前脚が1本しかないので、展示は見合わせ、R1に収容した。
- ◎ 2月の採集作業

日 時	場 所	方法・人員	主な目的
15日午後	通所常周辺	成採集 3	巻貝類、ウニ類
16日	動物園下の磯	〃 3	ウミウシ類
19日	塔島南磯	〃 1	ウニ類
29日	動物園下の磯	〃 2	カニ類、サマコ類

① 主な採集動物名（☆印は昭和32年4月1日以降、初めての入籍動物）

無脊椎動物：カイウミヒドラ イソカニデマシ トゲアシガニ ジャノメアメフラシ  
 ☆ドリアメフラシ ニシキウミウシ カメノコフシエラガイ ハナビラデカラ  
 ☆イロデカラ アカフモヒトデ ナガウニ ゴシデカウニ マナマコ  
フジナマコ ☆ムラサキグミモドキ

② 主な鑑入動物名

無脊椎動物：ヒメヤミエビ タカアシガニ ウミギフ ボウシユウボラ  
 魚類：メノリス ☆イロソマ スマトラ（以上淡水魚）ドナザメ カスダメ  
クロアナゴ ウツボ マツカサウオ アオブタイ トラフグ ☆ダルマオコゼ  
 ☆ホシガレイ イザリウオ

③ 2月29日現在、飼育中の動物は、総計369種3052個体以上で、その内訳は次の通り。このうち観覧水槽に収容展示中の動物は355種2750個体以上。

カイメン類	3種	タコ類	3種	イカ類	1種
ヒドロ虫類	2種	カブトガニ類	1種	タコ類	1種
ラミトサカ類	5種	フジツボ、カメノデ類	6種	ウミシダ類	2種
ヤギ類	5種	エビ類	13種	ヒトデ類	3種
ウミエラ類	1種	ヤドカリ類	4種	フモヒトデ類	3種
イソギンチャク類	7種	カニ類	23種	ウニ類	13種
イシサンゴ類	12種	アメフラシ類	13種	ナマコ類	8種
ハナギンチャク類	1種	ニ放貝類	11種	ホヤ類	8種
ホウキムシ類	1種	巻貝類	24種	軟骨魚類	6種
		ヒザラガイ類	1種	硬骨魚類	181種
				×類	3種

# 資料

②

2月の気象(09時観測)

为1水槽室(水温、比重はN024水槽)

	上旬	中旬	下旬
晴去日数: 19	7	5	7
室温(°C)	$\frac{7.2 \sim 14.0}{10.5}$	$\frac{6.3 \sim 11.7}{9.4}$	$\frac{8.9 \sim 11.0}{10.0}$
水温(°C)	$\frac{13.00 \sim 16.24}{14.77}$	$\frac{13.60 \sim 15.00}{14.20}$	$\frac{13.20 \sim 14.58}{13.91}$
比重(°/5)	$\frac{25.12 \sim 25.58}{25.35}$	$\frac{25.30 \sim 25.73}{25.57}$	$\frac{25.30 \sim 25.71}{25.57}$

新館(水温)

H水槽(°C)	$\frac{13.1 \sim 16.1}{14.8}$	$\frac{13.1 \sim 17.3}{14.6}$	$\frac{15.5 \sim 20.3}{17.8}$
T2水槽(°C)	$\frac{13.0 \sim 16.6}{15.0}$	$\frac{14.0 \sim 16.4}{14.7}$	$\frac{13.2 \sim 14.3}{13.2}$

取入口(

水温(°C)	$\frac{14.20 \sim 16.74}{15.55}$	$\frac{13.90 \sim 16.34}{14.70}$	$\frac{13.42 \sim 15.60}{14.36}$
比重(°/5)	$\frac{25.14 \sim 25.93}{25.53}$	$\frac{25.14 \sim 25.74}{25.44}$	$\frac{25.40 \sim 25.82}{25.61}$



## 博 物 館 記 事

22日に死亡したニシキエビの腿に寄生していた、エボシガイの1種

Ot. olasmio lancei (DARWIN) (1個体) は日本では初めての記録とりこと  
(内海委員) 博物館に保存した。

## 来 訪 録

2月14日 生産性本部1964年反セミナーがホテルパシフィックで行なわれ、

参加者の同伴夫人3名が兄学に来館

2月18日 NHKのRFDの人達数名は祝祭のため来館。

2月25日 小樽市立水族館本館警技術員外1名は、当館冷却装置を視察のため  
来館。

昭和39年3月10日 (NO.138)

編集兼  
発行者

市 川 衛

発行所

瀬戸臨海実験所振興会  
和可山県 白浜町  
瀬戸臨海実験所内  
(Tel. 白浜温泉 3515)